

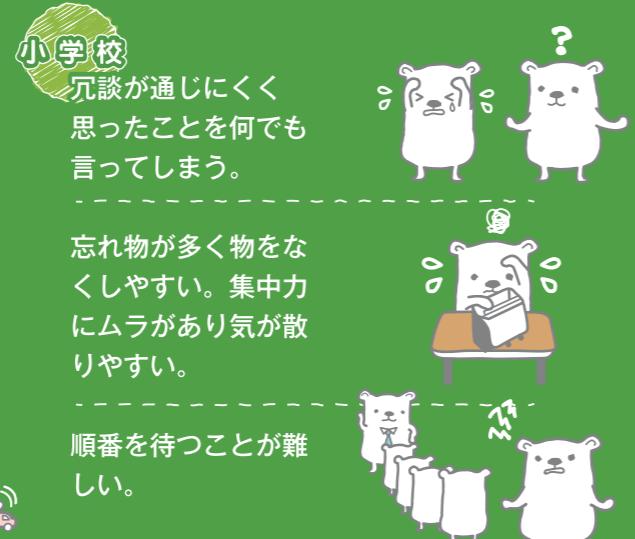
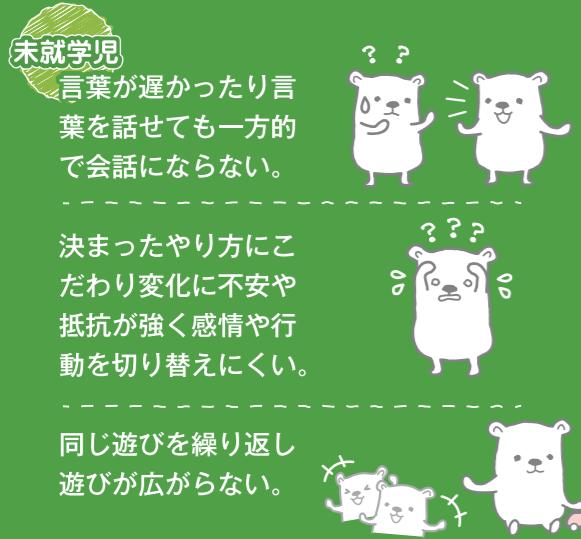
# 障がいを知り、共に生きる “発達障がい”って

まずは知ることからはじめよう

発達障がいは、生まれつきの脳の発達特性で、脳機能の発達にアンバランスさがあるのが特徴です。  
発達の仕方は個々に違いますが、周囲が理解して日々の育ちを応援することで、成長していきます。



## 子どもたちの様子でこんなことはありませんか？



こうしたことは、子どもの性格だったり、発達の過程で見られることもあります。  
しかし、程度が強いと、発達障がいの症状である場合があります。

## 発達障がいの特性

- 言葉の発達の遅れ
- コミュニケーションの障がい
- 対人関係・社会性の障がい
- パターン化した行動、こだわり

知的な遅れを伴うこともあります

### 注意欠陥多動性障がい ADHD

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じつとしている)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

### 学習障がい LD

- 「読む」「書く」「計算する」等の能力が、全体的な知的発達に比べて極端に苦手

苦手と思われることも、見方を変えると長所にもなります。

たとえば…発達障がいのある子どもは、常識にとらわれないユニークな発想をしたり、活動力をプラスのエネルギーに変えることで素晴らしい力を發揮します。



鳥取県では、発達障がいについて「知ろう」「気づこう」「支援しよう」をコンセプトに、リーフレット、ハンドブック、DVDを作成しています。  
より詳しく知りたい方は、  
鳥取県福祉保健部 子育て王国推進局 子ども発達支援課ホームページ  
(<http://www.pref.tottori.lg.jp/kodomohattatu/>) をご覧ください。



## めっちゃ 美味いやろ⁈ 源流米

～あべのハルカスで日野川源流米コンテスト開催～

日野郡内（旧溝口町含む）の農家が生産したお米の品質・食味の向上を図ることと、その美味しさを消費者に紹介することを目的とした『食のみやこ鳥取県 第12回日野川源流米コンテスト（主催：日野郡産米改良協会）』が今年も開催されました。

昨年度、新設した“ひとめぼれ部門”への出品数も増え、過去最高となる合計329点の出品がありました。

審査は、事前に整った粒の割合が一定以上の米の中から食味値が高い上位4点を選んでおいて、最終審査会場で来場者200名に1番美味しいと感じたものを投票していただき最優秀賞を決定しました。

例年は県内直売所などで最終審査を行っていましたが、今年は12月7日（日）に大阪あべのハルカスで開催し、大消費地に向けて日野郡の美味しいお米をPRしました。

表彰式はJA鳥取西部日野支所で1月14日（水）に開催する予定です。

## 第12回日野川源流米コンテスト受賞者

### 最優秀賞

佐伯 忠重（日南町）

### 優秀賞

北垣 寿成（日南町） 内藤 賢一郎（伯耆町）

農事組合法人工ファーム HOSOYA 山形百年（日南町）

### 奨励賞

農事組合法人工ファーム HOSOYA 三上惇二（日南町）

農事組合法人工ファーム HOSOYA 高橋秀紀（日南町）

生田 茂（日野町） 末次 輝夫（江府町）

森田 照男（江府町） 坪倉 富章（日南町）

### 特別賞

北垣 寿成（日南町）

Congratulations!

